

平成24年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	自己組織化による単結晶性空間の構築と擬溶液反応
研究代表者	藤田 誠
審査の所見	<p>応募者らはこれまで、自己組織化による遷移金属—有機配位子中空錯体（MOF）の内部空間を活用し、ホスト・ゲストの化学（分子の認識・吸蔵）で世界的な研究成果を挙げてきた。本研究では、MOF単結晶を作成し、その内部空間を利用して、新規触媒を開発したり、反応中間体を閉じ込めて反応機構を解明することを目標としている。新しい観点からMOFの学術を展開するもので、特別推進研究に相応しい独創的研究である。空間の性質を「変えず」に行える研究の他に、「変える」ことによる新規機能があり、この点も含め、これまで非常に優れた研究成果を挙げていた応募者らは、MOFの世界先端の新たな学術領域を切り開くものと期待できる。以上の理由により、特別推進研究として推進することが適当と考えた。</p>